

CONTENTS ◆みどりの街づくりガイド(仮称)の制作に向けて
◆講習会報告 ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

みどりの街づくりガイド(仮称)の制作に向けて

土とみどりを守る会では、世田谷区と協働し、2014年に「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」を区に登録しました。そして、みどり豊かな街の資源を伝えるために2006年に「奥沢グリーンマップ」を制作しました。

今、会ではグリーンマップの改訂増刷に向けた準備と、宣言の内容のより具体的な伝達手段として、みどりの街づくりガイド(仮称)の制作を行っています。



グリーンマップの制作時に、風景づくりに寄与している樹木を「景観木」として選びました。昨年秋に景観木の現況調査を行ったところ、残念ながら伐採された木もありましたが、依然として多くの景観木が維持されていることを確認しました。

今回の調査で改めて気がついたのは、玄関先や塀まわりの「開かれた庭」が増えている、ということです。みどりの街づくりガイド(仮称)は、そのようなアイデアも取り入れた内容にしたいと考えています。お散歩のときに、このような視点で、新たな発見をお楽しみ下さい。(堀内)

資料：奥沢・土とみどりの街づくり宣言(かいわい宣言)

宣言の目標：「緑豊かな街並みを維持し、心安らぐ街にしていくための住環境づくり」

宣言によって生ずる活動の内容：

1. 街並みの調和を大切に、街の歴史を刻む建物など、語り継がれていく風景を皆で守る。そのためには、住まいと街をつなぐものとしての建物の外壁、塀や柵、擁壁などのしつらえの方法や素材選びなどのアイデアを共有してゆく活動を進める。
2. 街並みに寄与している樹木を推奨し、周囲の住民の理解を得て、その保全に努め、新改築時に既存の樹木や生け垣を残す他、壁面緑化などの工夫を通じて、生活空間を豊かにしてゆくための活動を進める。
3. 季節の花がある楽しい街並みづくりや、文化活動を通じてご近所づきあいを活性化し、地域のコミュニケーションを深める活動を進める。

みどりの街づくり： カーポートの緑化

(おくさわ今と昔はお休みします。)

“景観木”以外にも、いろいろな工夫でみどりを感じられるようにしている事例を紹介します。

右は、2006年に街並み選奨として選ばれたお宅です。裏の空間になりがちなカーポートを中心に、あまり大きくない樹木で緑化している事例です。カーポートの雨水浸透をしています。

このような、敷地を有効に使うことで、高木が無くても緑豊かな街並みを作ることができます。(堀内)



みどりの街づくり： アプローチの緑化



坂道を下ると右側に形よく刈り込まれた高野槇とツゲ。踏み石の周りのリュウノヒゲと木製の数寄屋門が目に入り隠れ家の料亭かしらと足を止める。

「50年前のものよ」と言われる数寄屋門の格子越しには色々な形をした石が左右にあり周りに侘助・ツツジ・椿・真っ直ぐに伸びた高野槇が見える。そして緩やかな曲線を画いている飛び石がアプローチの趣を一段と出しているのである。



「庭師が造ったのよ」「うなぎの寝床みたいでしょ。訪ねてきた友人が家を通り過ぎてしまったのよ」と後藤さんは楽しそうに話をして下さいました。

この道を通った時には数寄屋門の格子越しに日本庭園風の「みどり」を觀賞してみたいはいかがでしょうか。(遠藤・玉置)



みどりの街づくり： シンボルツリーのある家



左は東玉川1丁目のI邸です。Y字路の坂を上りきった場所に大きくそびえる常緑樹があって、癒されます。この木の左下に紅梅があって、春先の彩りを見せてくれます。フェンスに懸けられたプランターにはテッセンが植えられ、夏には涼しげな花が咲き、秋深くなるまで楽しませてくれます。写真ではよく分かりませんが、角の正面にお地蔵さんがあり、季節の花の小鉢が置かれています。「広い庭」ではないけれど、外構に効果的なグリーンがたくさん配置され、道行く人々に楽しみを与えています。

右は同じく東玉川1丁目のS邸です。コンクリート打ちっ放しの無機的な外壁の周囲に素敵（＝選抜かれた）鉢や小物、丹精の植物が置かれ、近隣の住民を楽しませてくれています。地植えでない植物は水やりが大変ですが、ご旅行の時などは、ご近所の方が面倒を見てくださるそうです。植物を愛し、街並みの景観アップに貢献するということは、街全体のコミュニケーションが増し、防犯にも繋がるのだと思います。



左は＜東玉川のサボテンの家＞。我が家です。全景を見ると、ひよろ長い大王松、柿、梅、枇杷の木などが、ぎゅう詰めに植わっており、デザイン性は皆無です。

そこで、シンボルツリーの定義を＜その家の住民が愛着を持ち、その木が近隣の人々からも愛されて、「〇〇の木のある△△さんの家」と言われるような木＞と解釈させて貰えるなら、我が家のシンボルは、＜東京では珍しい柱サボテン（鬼面閣）＞です。綺麗な白い花もたくさん咲くのですが、深夜～明け方にしか見られないのが玉にキズ。

ツリーではありませんが、我が家は毎年末から4月いっぱい、桜草の紅色とオキザリスの黄色で、燃え上がります。他にも実の成る木が欲しい、緑のカーテンも必要、珍しい多肉植物も！と増殖の結果、満艦飾の家になってしまいましたが、ご近所の方々からは喜ばれています。（狛雅子）

講習会報告（フラワーアレンジメント・ボタニカルアート入門編）

花に関わる二つの講習会を12月に開催しました。いずれもクリスマスやお正月に因んだテーマで例によって習作と講評で講師との楽しいお茶の時間を楽しみました。（鈴木）

12月10日（日）午前、シェア奥沢で行いました。赤い実というテーマで千葉雅子講師から、サンキライとノバラの枝が配られました。描く気になってよく見ると、実の赤さは種類によっても、同じ枝でも個々の実の赤さが違っており、また実の房や枝の立体感をどう現わそうか苦労して描いていました。

作品をクリスマスカードにするとか、和気あいの講習会でした。



（作品例 左からサンキライとノバラ）

12月20日（日）午後、奥沢区民センターでお正月飾りを制作しました。牛乳パックを利用したエコパックに、マツ、タケ、センリョウ等のみどりとキク等のカラフルな花を組み合わせ、お正月用の小道具を合わせた華やかなアレンジメントができました。今回は飛び入りでマミフラワー講師の大島庸子さん、杉山叔子さんにお手伝いを頂き、またマツやシャリンバイをスタッフや会員の方からご提供頂くなど皆様のご協力有難うございました。



（作品例）

活動報告

●昨年11月20日から12月4日の早朝に、4回目となる街の落ち葉掃きを奥沢交和会との協働で実施しました。奥沢小学校生徒との協働では参加者が大幅に増加し、落ち葉掃き活動が年々充実してきたと感じました。

●1月17日（日）に恒例の新春奥沢地区祭りに会の紹介展示を行いました。いつものシンボルフラワーポット（チェリーセージ）の無料配布と温かいハーブティーのサービスによる交流に加え、「みどりの街づくりガイド案」の制作に関連して調査した街のみどり写真を液晶ディスプレイでスライドショー展示しました。

会からのお知らせ

●春のつどいは、3月19日（土）午後1時半から、「シェア奥沢」で行います。テーマは「みどりの街づくりガイド案」とおくさわコンサート（バイオリンとピアノ演奏）です（詳細はチラシ等でご案内します）。

●土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える会費は1口1,000円です。どうぞ協力をお願い致します。入会のご相談は下記へお寄せ下さい。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-32-11 堀内正弘 5701-5901

世田谷区奥沢 2-18-5 鈴木 仁 3723-6659

世田谷区奥沢 2-41-2 玉置敬子 3724-1077

URL: <http://tsuchimidori.net>

e-mail: info@tsuchimidori.net

編集後記

2月16日テレビ東京放映の高田純次が訪ねる「じゅん散歩」で奥沢が紹介されました。今回は海軍村が詳しく放送され黒井さんがインタビューを受けたり、当会事務所前の掲示板で海軍村の地図も映されました。3日後に当会に壁島さんと言う方から、「テレビを見ました。地図の中に「壁島」らしき名前が載っている。もし私の祖父なら壁島爲造と言う名前です。」のe-mail問い合わせがありました。「その通りです。」と答えると奥沢を訪ねてこられました。海軍村をご案内すると、子供の頃によく遊びに来たそうで、懐かしそうに見入っておられ、いつかご夫妻で再訪すると仰っていました。

偶然乍ら奥沢の歴史を調査し紹介してきた甲斐がありましたね。